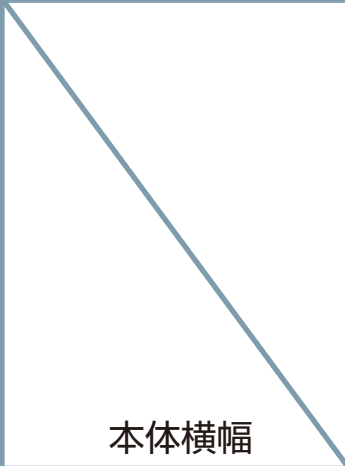
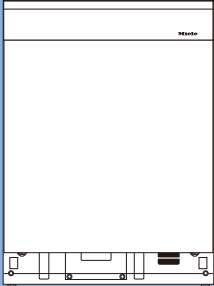
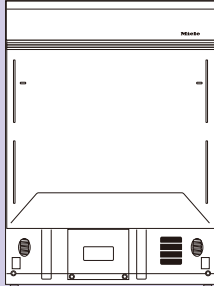
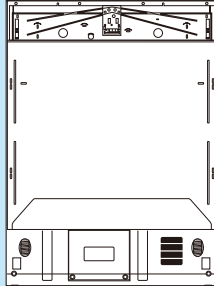


食器洗い機設置・施工手順書 取付編

 <p>本体横幅</p>	<p>標準ドア装備</p> 	<p>ドア面材取付専用</p> 	<p>オールドア (全面) 面材取付専用</p> 
	品番	品番	品番
	G xxxx SCu	G xxxx SCi	G xxxx SCVi

設置後、必ず11ページの「設置後のチェックリスト」に従って、確認と試運転を行い、弊社へFax送信ください。

特定保守製品に関するお願い

- 本製品は、消費生活用製品安全法で定められた特定保守製品です。
- 特定保守製品とは「経年劣化により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼす恐れが多いと認められる製品であって、使用状況からみてその適切な保守を促進することが適切なものとして政令で定めるもの」です。
- 付属の説明書と所有者票は、必ず特定保守製品取引事業者またはお客様（消費者、賃貸業者等の所有者）にお渡しください。
- 消費生活用製品安全法にて、特定保守製品の所有者は製品の製造・輸入事業者（特定製造事業者等）に対して、所有者情報を提供する責務が定められています。

- 本手順書では、人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- 設置・施工において、本手順書に従わなかったために生じた故障・事故などについては責任を負いかねます。
- お客様による設置工事は危険です。建物を傷めたり、ケガのおそれがあります。据付設置は、必ずお買い求めの販売店または指定サービス店にご依頼ください。

ミーレ・ジャパン株式会社

〒153-0063 東京都目黒区目黒1-24-12オリックス目黒ビル4階
電話 (03) 5740-0030

商品の詳細・ご購入は、ミーレオンラインページ

<http://store.miele.co.jp/>

またはミーレ・カスタマーサービス（通話無料）までお問い合わせください。

ミーレ・カスタマーサービス

固定電話：0120-310-647(フリーダイヤル)

■受付時間 月～金 9：00～17：00(土日・祝祭日休業)

DW-tec-170314

部材・付属品・工具 一覧

機種により梱包されている部材が異なります。
取付前に確認してください。

■同梱されている部材・付属品

部品名 姿 図 個 数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
G 4700 SCu G 4800 SCu G 6100 SCu G 6300 SCu	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
G 4700 SCi G 4800 SCi G 6100 SCi G 6300 SCi G 6500 SCi G 6910 SCi	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
G 4860 SCVi G 6360 SCVi G 6980 SCVi	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○

部品名 姿 図 個 数	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
G 4700 SCu G 4800 SCu G 6100 SCu G 6300 SCu	×	×	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—
G 4700 SCi G 4800 SCi G 6100 SCi G 6300 SCi G 6500 SCi G 6910 SCi	○	○	○	○	○	○	○	○	○	G6500 SCi G6910 SCi のみ同梱	—	G6910 SCi のみ同梱	—	—
G 4860 SCVi G 6360 SCVi G 6980 SCVi	○	○	○	○	○	○	○	○	○	G6360 G6980 SCVi のみ同梱	G6980 SCVi のみ同梱	G6980 SCVi のみ同梱	G4860 G6360 SCVi のみ同梱	G6980 SCVi のみ同梱

■別売部材 必要に応じて別途お求めください。(同梱部材ではありません)

	① 各機種	② SCiタイプ	③ SCViタイプ
部材番号	6399300	6069531	6166480

■使用する工具 別途ご用意ください。(同梱部材ではありません)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※1-ワークトップカウンター保護板の取付時にカウンターへ固定する時に使用します。
※2-付属のケコミカバーをカットする際に使用します。

設置手順



設置後、必ずP.10のチェックリストに沿って試運転を行ってください。水漏れや異常音、本体の傾きがないこと、正常に排水することをご確認ください。

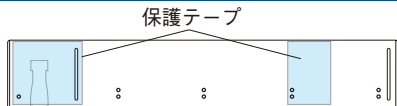
■ワークトップカウンター保護板の取付け

ワークトップカウンター保護板は、食洗機からの蒸気でキッチン天板が劣化するのを防ぎます。
(すべての機種に付属、LED反射板「あり」と「なし」のタイプがあります。)

キッチン天板保護の役割に加えて、オールドア・フルフェイスタイプ (SCViシリーズ) には、運転行程を示すLEDを映す「LED反射板」が予め取り付けられています(透明なプラスチックの部分)。
この透明な反射板に黒色の両面テープを貼り、LEDを反射するミラーとなるように、取り付けして下さい。

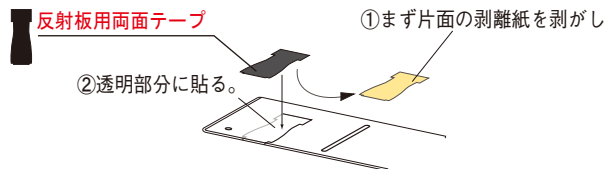
G 4860 SCVi / G 6360 SCVi におけるLED反射板の取り付け

1



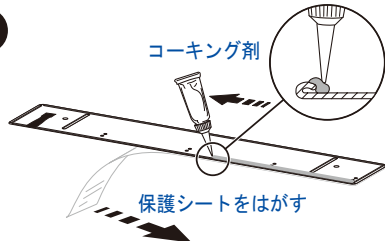
青色シート、および反射板部分(ある場合)の保護テープを剥がします。

2



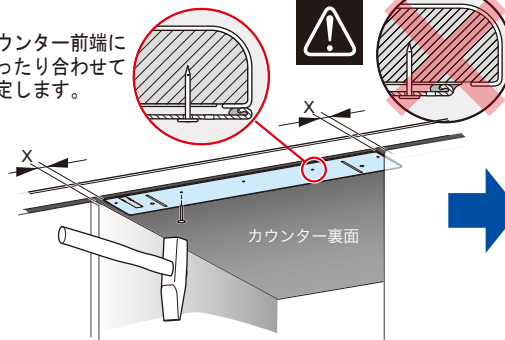
反射板用の両面テープ(黒)の剥離紙をはがし、反射板(透明なプラスチックの部分)裏に貼り付けます。これにより、反射板が鏡のようになります。(SCViのみ)

3



カウンター保護板のクギ穴、カウンターとの隙間をコーキング剤で充てんします。

カウンター前端にぴったり合わせて固定します。



カウンター前端からオフセットして取り付けないでください。

クランプで固定する

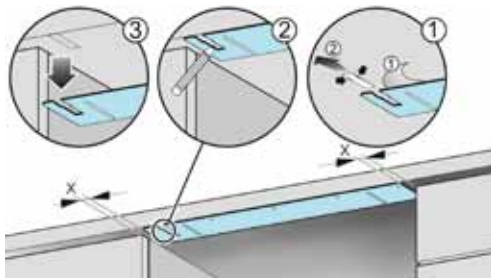
参考：各種カウンター固定例



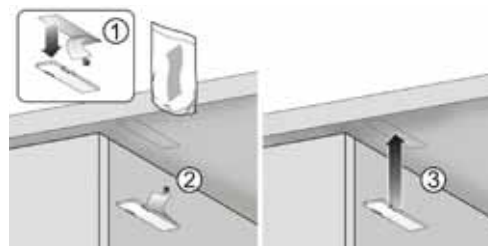
キッチンカウンター裏面に保護板をクギ(L=20mm)で固定します。その後クランプ等を使って完全に固着させます。

釘が使えないワークトップカウンターに取り付ける場合

人工大理石等で釘が打ち込めない場合、反射板のみを取り外して、両面テープで貼り付けます。

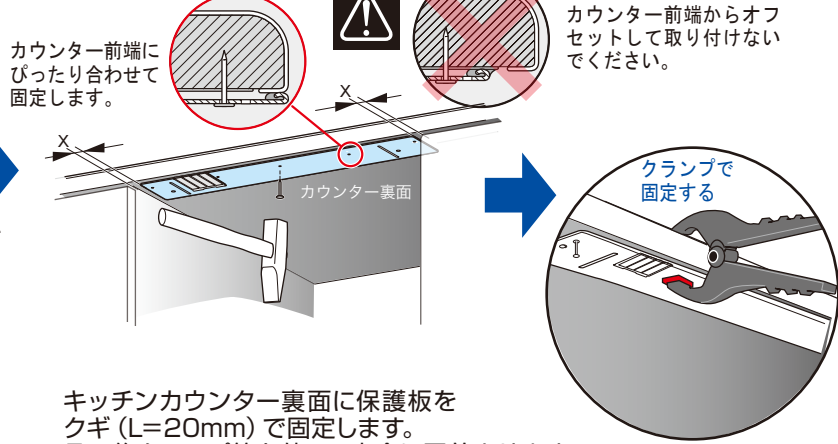
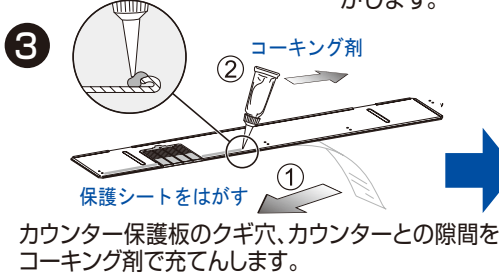
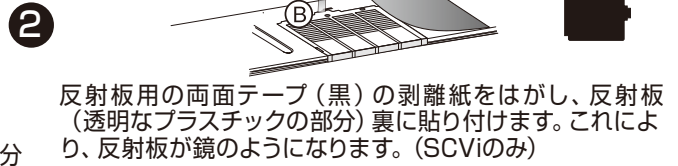
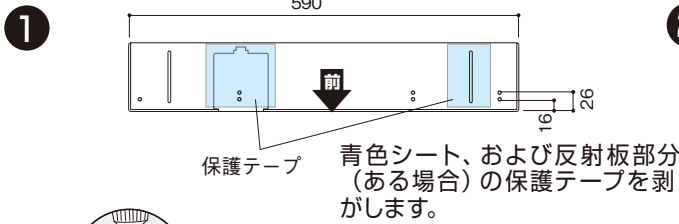


反射板に取り付けてある透明プラスチックの部分を取り外し、その切り欠き部分をテンプレートにして、カウンターワークトップ裏面に貼り付け位置をマークします。



取り外した透明プラスチックの部分に、反射板用の両面テープ(黒)の剥離紙をはがし、裏に貼り付けます。鏡のようになった反射板を、マークした位置に貼り付けます。

G 6980 SCViにおけるLED反射板の取り付け



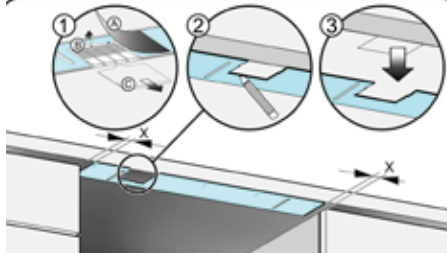
参考：各種カウンター固定例



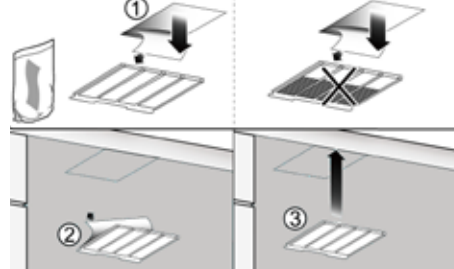
キッチンカウンター裏面に保護板をクギ(L=20mm)で固定します。その後クランプ等を使って完全に固着させます。

釘が使えないワークトップカウンターに取り付ける場合

人工大理石等で釘が打ち込めない場合、反射板のみを取り外して、両面テープで貼り付けます。

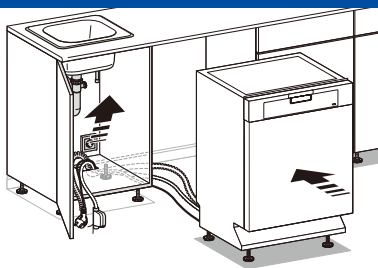


反射板に取り付けてある透明プラスチックの部分を取り外し、その切り欠き部分をテンプレートにして、カウンターワークトップ裏面に貼り付け位置をマークします。



取り外した透明プラスチックの部分に、反射板用の両面テープ(黒)の剥離紙をはがし、裏に貼り付けます。鏡のようになった反射板を、マークした位置に貼り付けます。

2 ホース・コードの引き込み・本体の押し込み



ホース電源コードを引き込み、長穴に通しながら機器を押し込んでください。

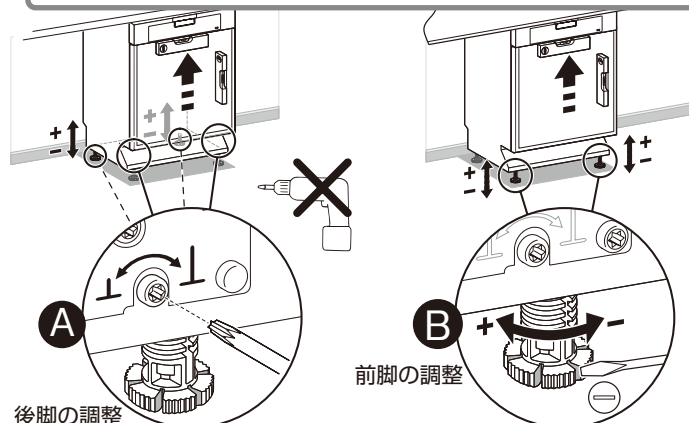
※機器とキャビネットの間に排水ホースをはさまないようにご注意ください。



- 給水・排水ホースは絶対に切断しないでください。
- 給水ホースの折れ曲がりのないよう、必ず確認してください。水漏れの原因となります。

3 本体の高さ調整・水平を確認

本体の前後4つのアジャスタ脚を開口部の高さに調節します。



後脚の調整
A 後脚は、左図のように左右2ヶ所のトルクスネジを回して調整します。

前脚の調整
B 前脚はマイナスドライバーで、右図のように直接脚を回して調節してください。

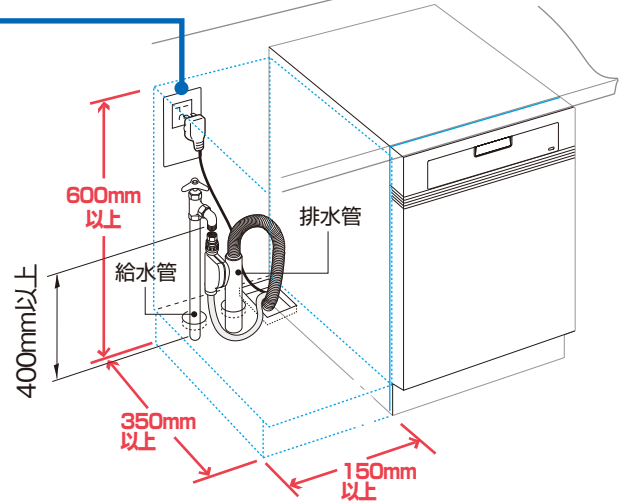
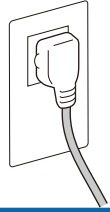
高さ調整の後も、水準器で床の水平レベルと、本体が傾いていないかを再度確認してください。

4 電源の接続

★この設備は代表的な方法です。現場に応じて給・排水管、コンセントの位置は変えてください。

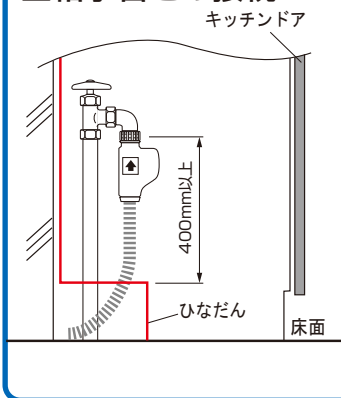
専用コンセント
単相200V
20A/15A
アース付き

コードが下向きになるよう、
電源プラグを根元まで
コンセントに差し込みます。



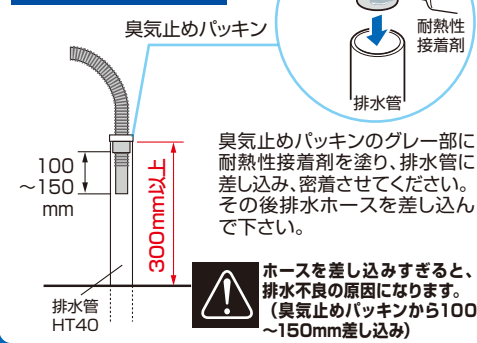
5 給排水の接続

■給水管との接続

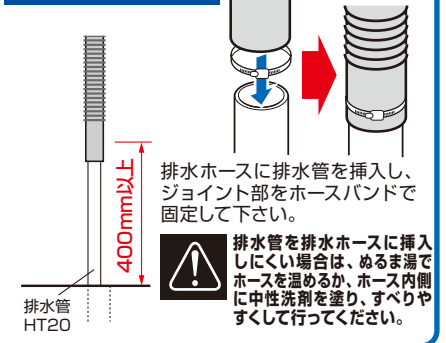


■排水管との接続

●HT40の場合



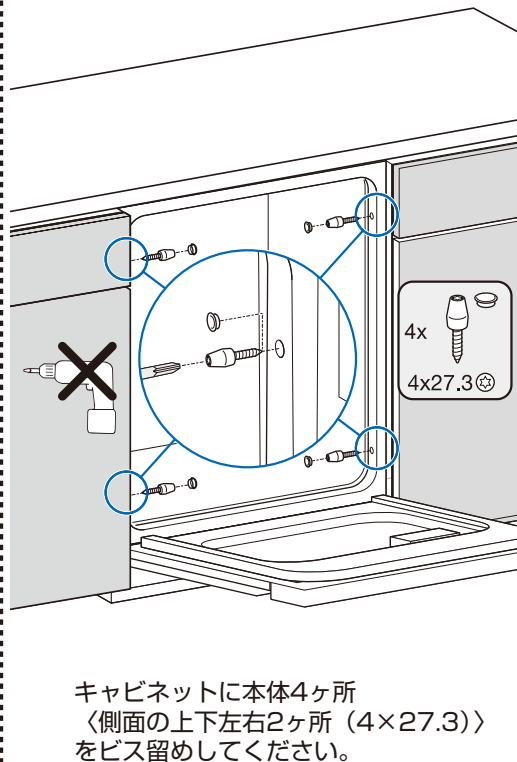
●HT20の場合



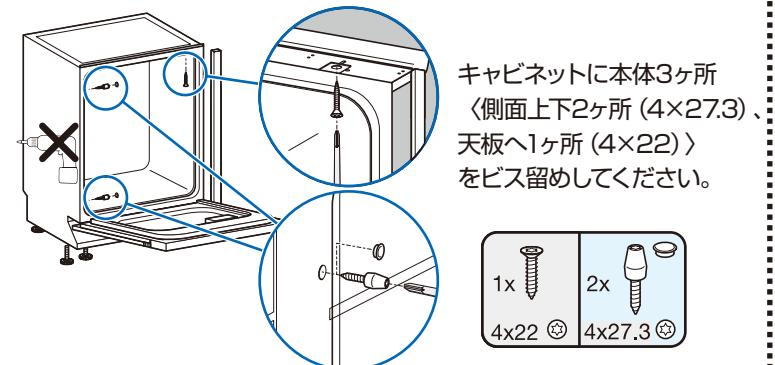
6 本体の固定

ドア面材、またはパネル面材、ケコミカバーの取付け(本手順書6~10ページ参照)が全て終わったら、つぎの **a** ~ **c** のいずれかの方法で本体を固定してください。

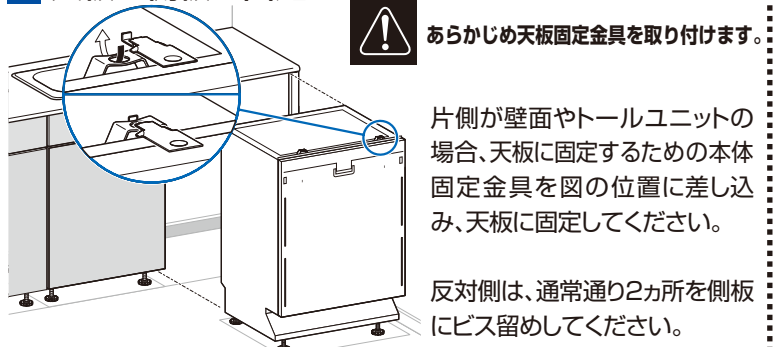
a 上下・左右4カ所で固定



b コーナー2カ所と天板1カ所への固定

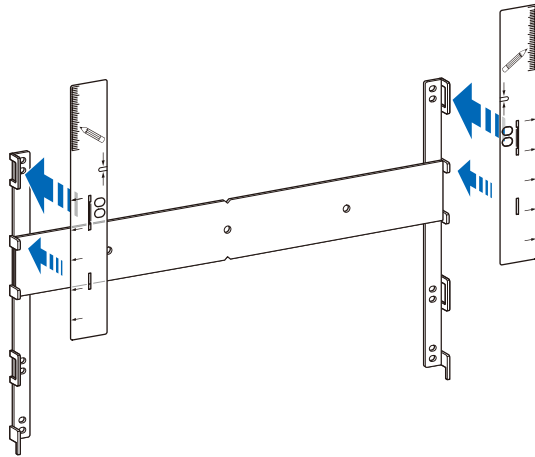


c 天板と側板に固定



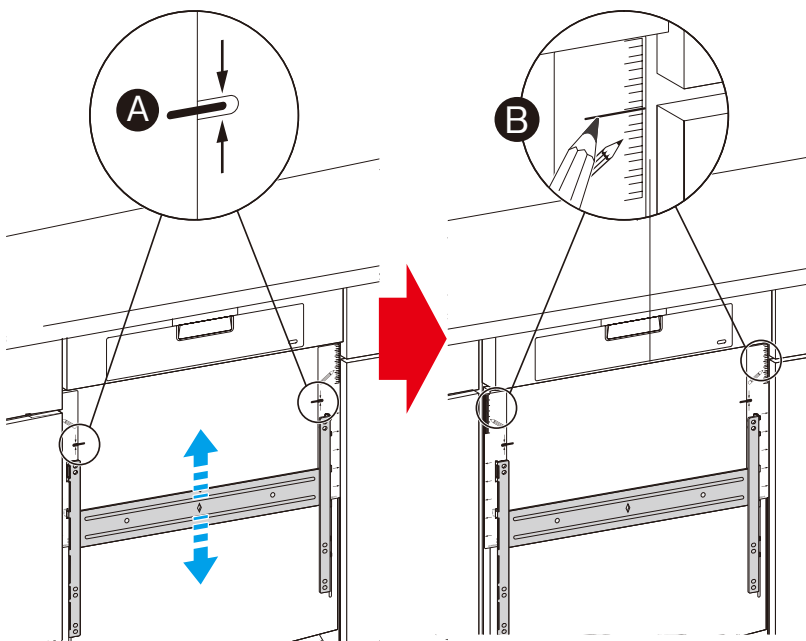
ドア面材の取付け① (SCIシリーズに適用)

1 ドア面材スケールの取付け



ドア面材取付金具に、付属のドア面材取付用スケールを装着します。
 ドア面材取付用スケールを、ドア面材取付金具のフックに差し込んでください。(矢印部分)

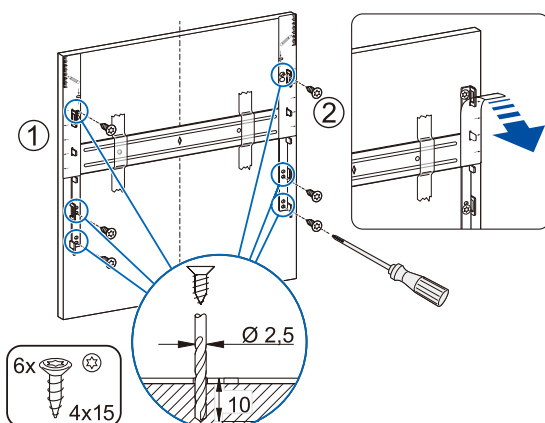
2 ドア面材取付金具(⊥)、取付位置をマーキング



本体に取り付けてあるフィラー(飾り板)を取り外し、ドア面材取付金具下側のフックを機械のドアのスリットに差し込み、ドア面材取付金具を上下させて、

- Ⓐ ドア面材取付用スケールのマーキングと、機器ドアのマーキング(長穴)を合わせます。
- Ⓑ その後、ドア面材取付用スケール上に、隣接するキッチンユニット上端の位置をマーキングします。

3 ドア面材取付金具の取付け



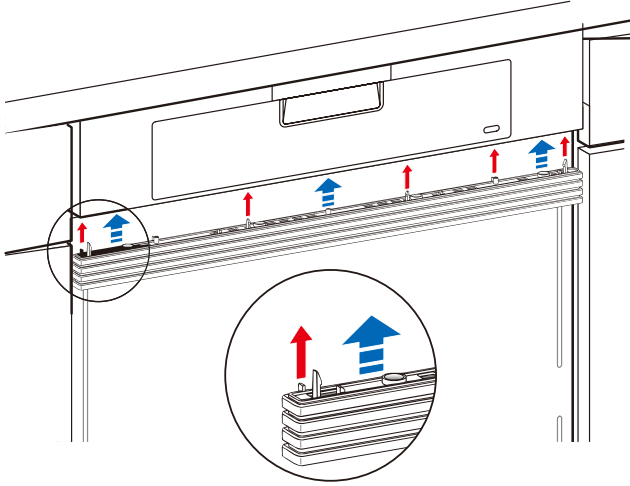
スケール上にマーキングした線(前ページ3B)を、ドア面材の上端に合わせ、金具の中央部分をテープで固定します。

金具の6ヶ所に下穴(φ2.5; 深さ10mm)をあげ、タッピングネジ(4×15)で固定した後、スケールとテープを取り外してください。

ドア面材の取付け② (SCIシリーズに適用)

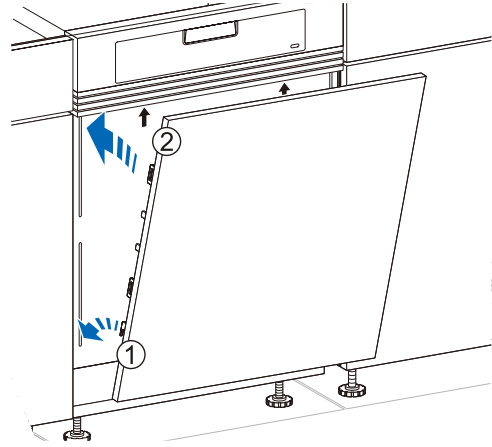
4 フィラー（飾り板）の取付け

※必要ない場合は取り外してください。



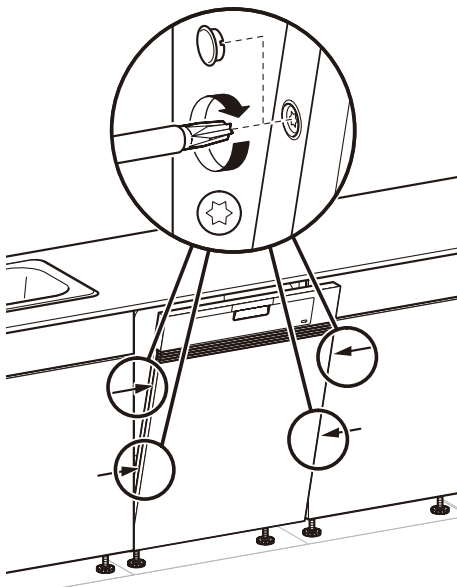
キッチンの引き出しラインなどと操作パネルの高さが合うように、フィラーを調整してください。フィラーは、4本の組合せでできています。7~35mmの間で調節が可能です。ステンレス仕様の場合、ボルト切断など加工するときは、カナノコ等の工具をご用意ください。

5 ドア面材の取付け



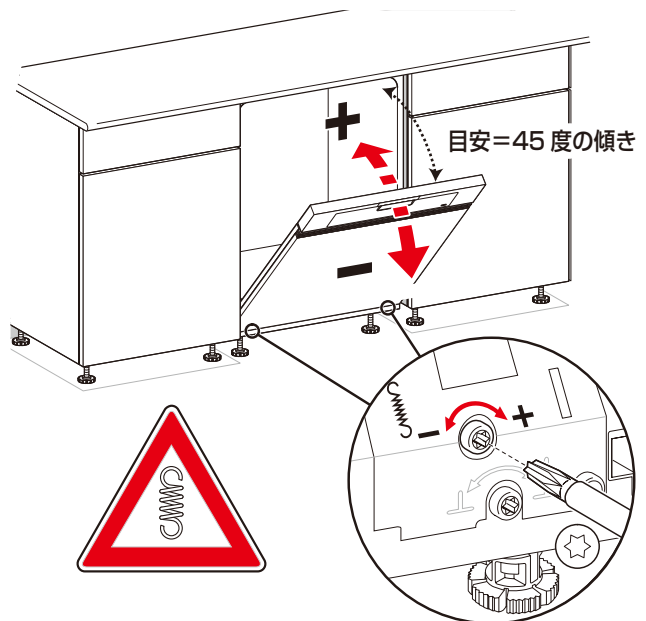
ドア面材に取り付けた金具のフックを、上図のように、本体のスリットに差し込んで取付けます。

6 ドア面材の固定



キッチンのラインにドア面材高さを合わせた後、本体ドア左右4ヶ所のトルクスネジを回して固定してください。

7 ドア開閉バランスの調整

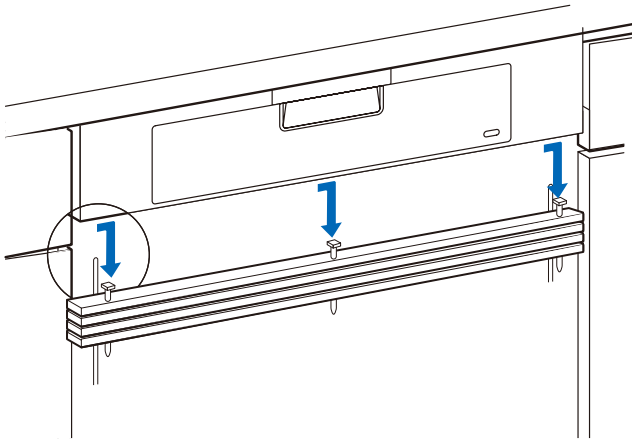


面材の重さで一気にドアが開かないように、開閉バランスを調整します。トルクスドライバーで、本体の下部左右2ヶ所にあるスプリング強度調整ネジを回して、ドアが中立する程度のバランスに調節してください。

GFVの取付け

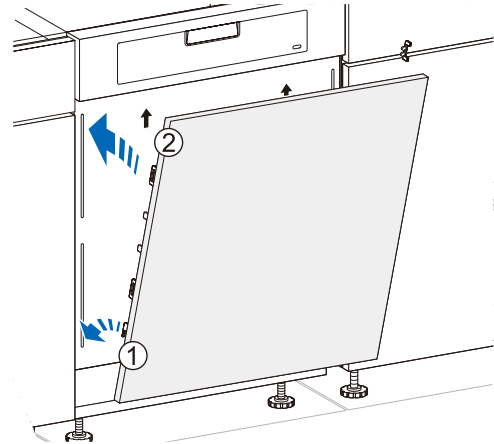
(SCIシリーズに適用)

1 フィラー（飾り板）の取り外し



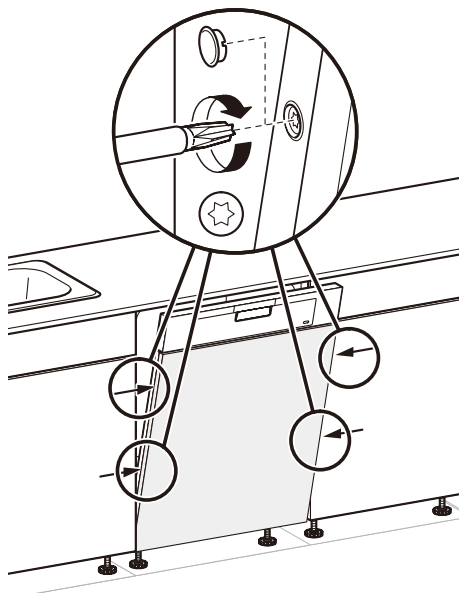
GFVではフィラー（飾り板）は使用しません。
図のように、フィラーを下に引いて、取り外してください。

2 GFVの取付け



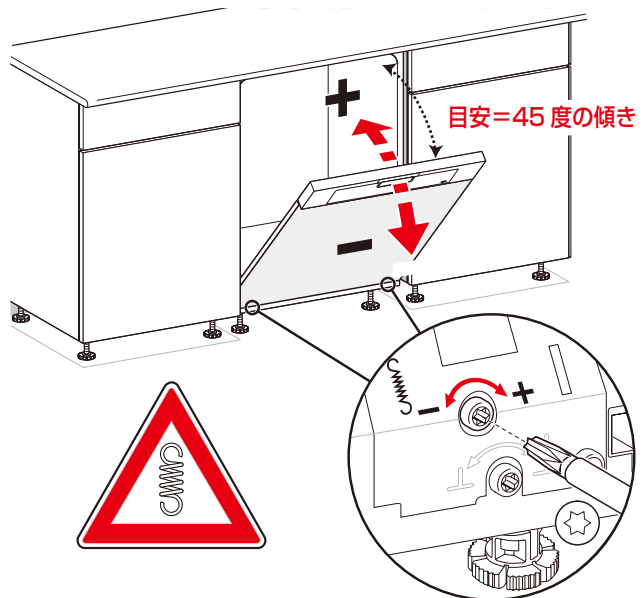
ドア面材に取り付けた金具のフックを、上図のように、本体のスリットに差し込んで取付けます。

3 GFVの固定



キッチンのラインにGFVの高さを合わせた後、
本体ドア左右4ヶ所のトルクスネジを回して固定してください。

4 GFV取付後のドア開閉バランスの調整



GFVの重さで一気にドアが開かないように、開閉
バランスを調整します。

トルクスドライバーで、本体の下部左右2ヶ所にある
スプリング強度調整ネジを回して、ドアが中立
する程度のバランスに調節してください。

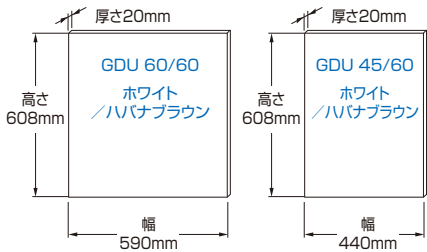
パネル面材の寸法および取付け

SCiの製品に、アクセサリ GDU取付の場合に適用

ドアキットの準備

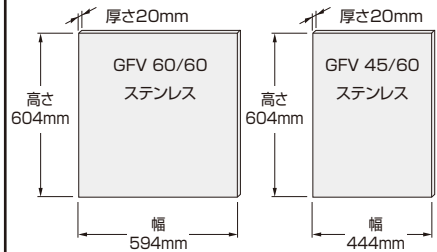
ドア面材取付専用モデル (SCi) にパネル面材を差し込む際には、ドアキットを用います。

ドアキット(60/45cm)



! ホワイト/ハバナブラウンは、操作パネルへの入り込みが3mm生じるため装着時の実寸法は高さ605mmとなります。(60/45cmタイプともに)

GFV(60/45cm)



! GFVは、パネル面材は取り付けできません。

パネル面材について

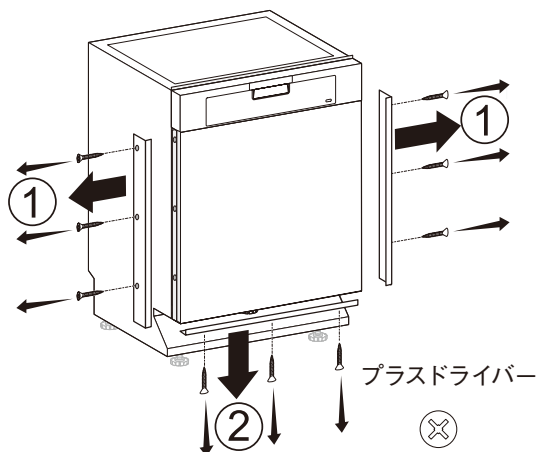
キッチンにコーディネートしたパネル面材をご用意ください。厚さが2mm以下の場合、前に取外したスペーサー板を重ねて取り付けます。(2mm以上の場合は、スペーサー板なしで取り付けることができます。)

パネル面材寸法

60cmタイプ= 幅585×高さ605
厚さ1~4mm

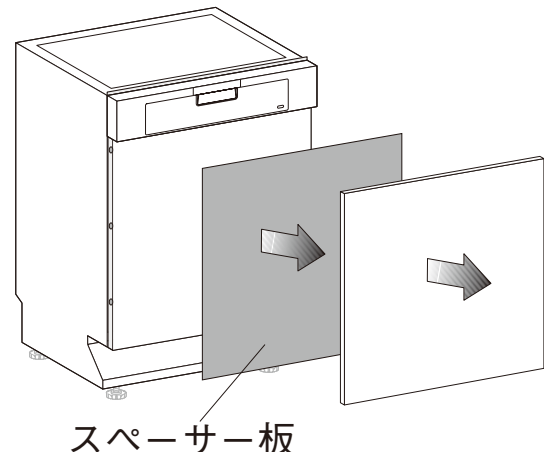
45cmタイプ= 幅436×高さ605
厚さ1~4mm

1 フレーム (3カ所) の取外し



本体のパネルを固定しているフレームを左右2ヶ所、下部1ヶ所、取り外します。(フレームは合計9カ所のビスで固定されています。)

2 パネルの取外し

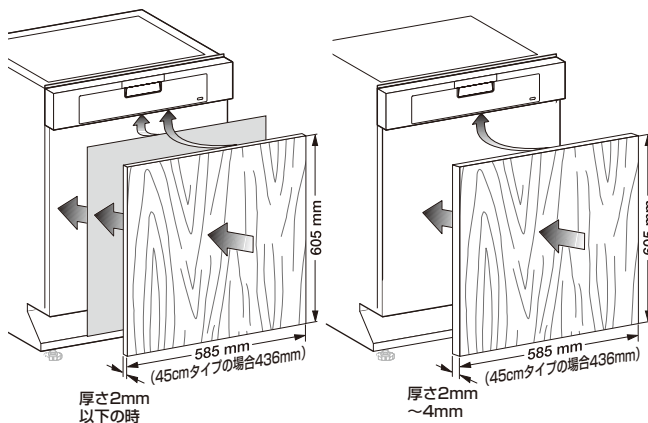


本体にあらかじめ取り付けられているパネルとスペーサー板を取り外します。

3 化粧パネル面材の準備

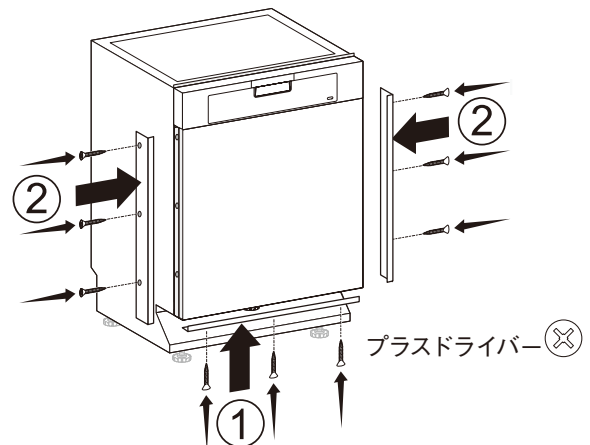
厚さ2mm以下の時

厚さ2mm~4mmの時



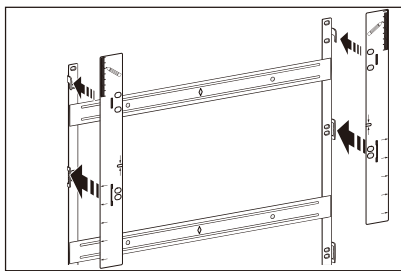
4 パネル面材の取付け・固定

フレームを元通りに取り付け、プラスチックドライバーで左右の穴から9カ所固定して完了です。



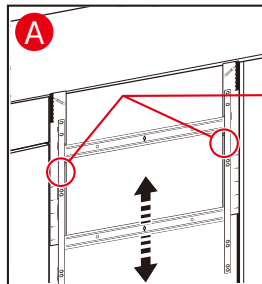
オールドア (フルフェイス) 面材の取付け (SCViシリーズに適用)

1 ドア面材スケールの取付け

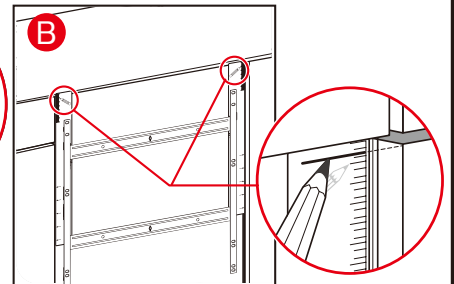


ドア面材取付金具に、付属のドア面材取付用スケールを装着します。ドア面材取付用スケールを、ドア面材取付金具のフック (矢印部分) に差し込みます。

2 ドア面材取付金具 (H)、取付位置をマーキング

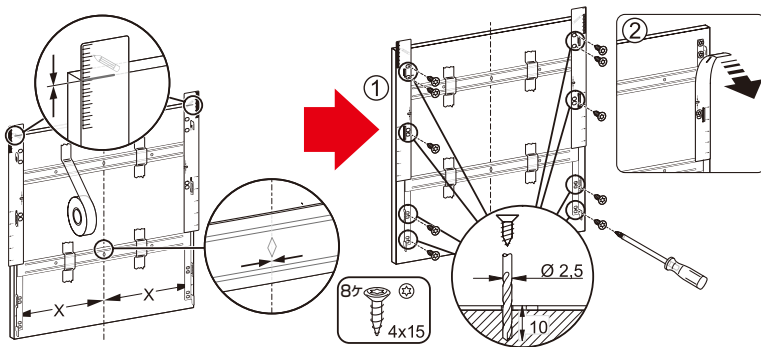


A ドア面材取付金具下側のフックを本体ドアのスリットに差し込み、ドア面材取付金具を上下させ、ドア面材取付用スケールのマーキングと機器ドアのマーキング (長穴) を合わせます。



B その後、ドア面材取付用スケール上に隣接するキッチンユニット上端の位置にマーキングします。

3 ドア面材取付金具 (H) の取付け

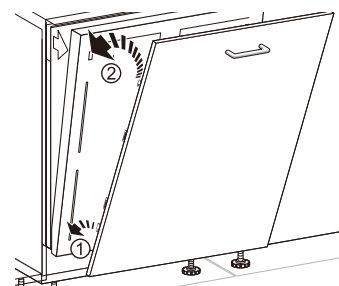


スケールのマークした点を、用意したドア材の上端に合わせ、金具の中央部分をテープで固定します。

金具の8ヶ所に下穴 (φ2.5; 深さ10mm) をあけ、タッピングネジ (4×15) で固定した後、スケールを取外します。

4 ドア面材の取付け

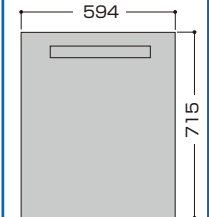
(※下図は、ハンドルを取り付けたドア面材の一例)



金具を取り付けたドア面材を、図のように、フックを本体のスリットに差し込んで取付けてください。

オールドア面材寸法 G6360SCViのみ

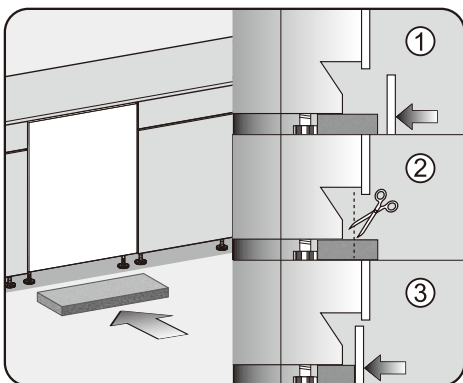
(型番: GFVi613/72-1)
※材質はステンレスのみ



60cmタイプ
= 幅594 × 高さ715
厚さ20mm

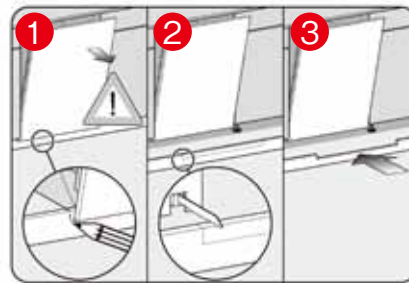
防振クッションの取付け

※G6500SCi, G6910SCi,
G6360SCVi, G6980SCVi のみ

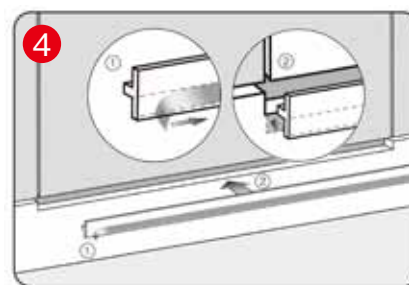


ケコミカバーの蹴込み深さに合わせてカットし、はめこんでください。

通し巾木をドア面材とフラットに仕上げる場合…カバーストリップの取付け

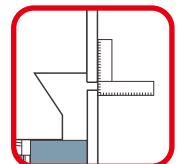


① 通し巾木を、取り付けたドア面材にあて、巾木に当たる下端位置をマークします。



② 巾木に当たる部分をカットします。

② 防振クッションを入れ、通し巾木を面材と面合わせして取り付けます。

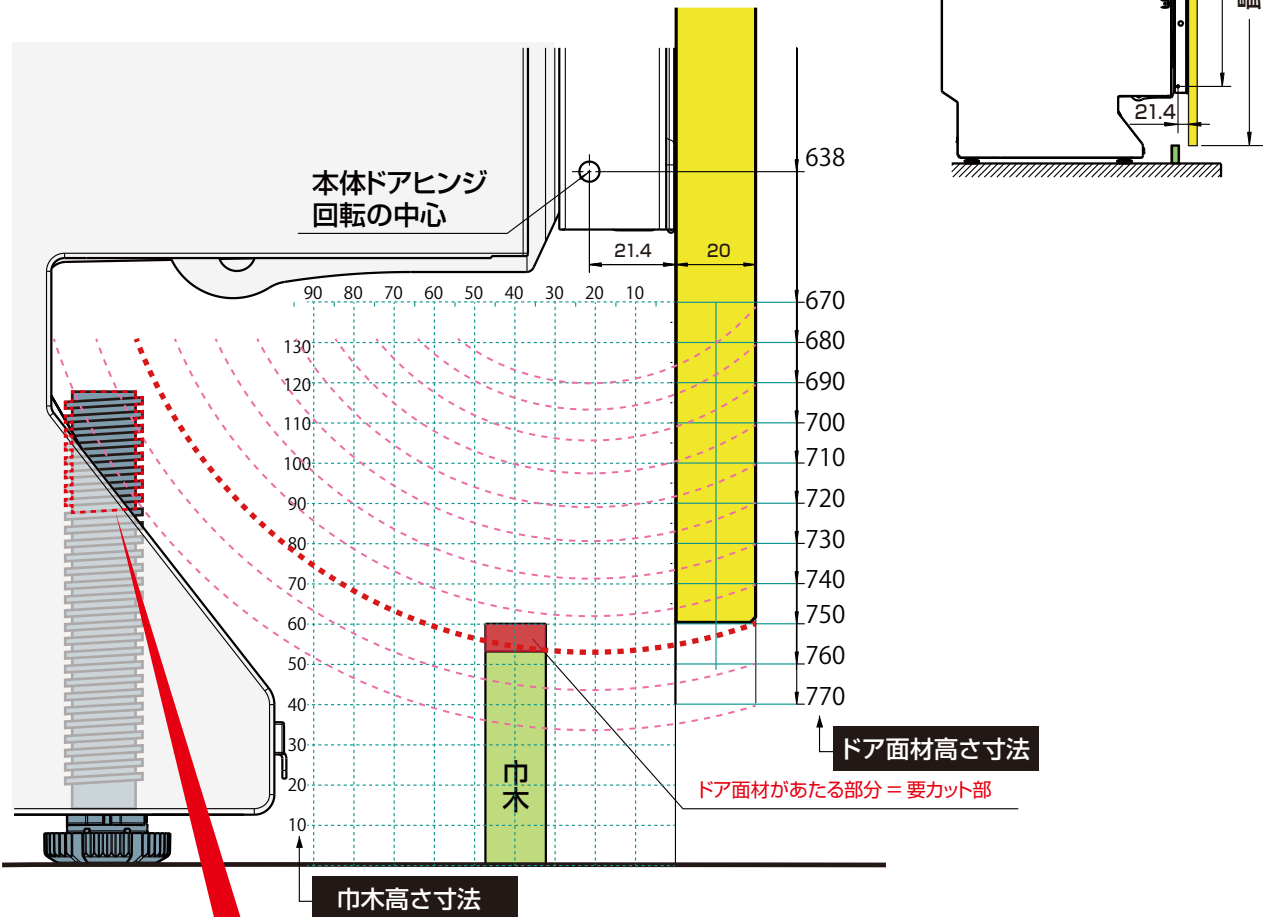


① カバーストリップの両面テープの剥離紙をはがし、巾木のカット端面に貼り付けて完成です。これによりドア面材と巾木のすき間を塞ぐことができます。

巾木の作成とケコミカバーの取付け

■巾木の寸法（巾木のカット…通し巾木の場合）

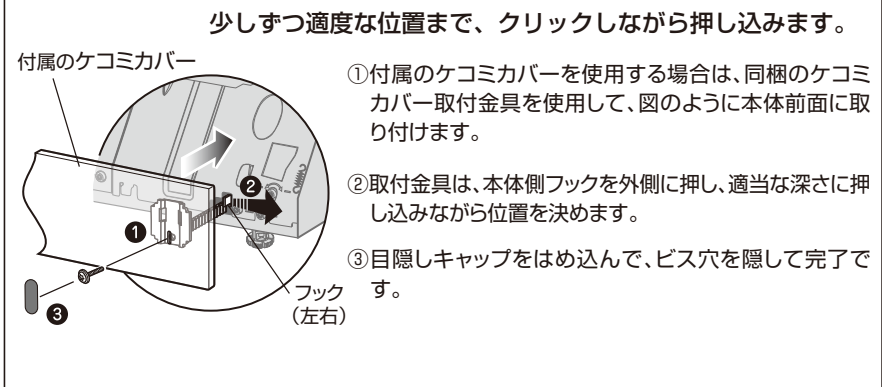
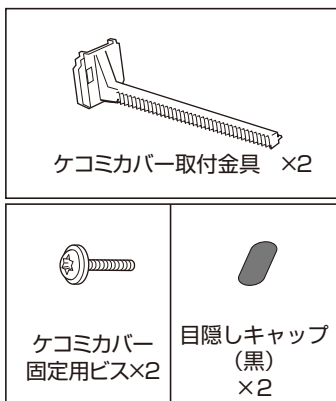
- ドア面材下端は、ドアヒンジを中心に下図の軌跡を描いて挙動します。ドア面材の下端が巾木の上端にぶつからないよう、巾木上端ををカットしてください。
- 巾木の高さや蹴込み深さによってカットの寸法は異なります。下図を参考に、カットH寸法を割り出してください。



食洗機の脚を一番下まで下げた場合、ドア材の長さが750mm以上の場合、食洗機の脚と干渉し、ドアを全開することが出来ません。干渉する場合、樹脂製脚の干渉部分をカットしてください。(赤の点線で示す部分)

付属の巾木(ケコミカバー)を取り付ける場合

- ドア面材がぶつからないよう巾木をカットします。巾木の高さや蹴込み深さによってカットの寸法は異なります。



食器洗い機 設置後のチェックリスト

●あらかじめ電源が入ること、給水（給湯）の開栓を確認してください。

お客様名	設置日
機種 G	製造番号

点検	確認項目	判定
本体の設置	本体が水平でがたつきがないか。	
本体の固定	側板もしくは天板へしっかり固定してあるか。	
ドアの調整・開閉	ドアスプリングでドアの開閉強度調整をしたか。 ドア開閉のとき、他機器や家具への障害はないか。	
給水接続部	水漏れはないか。ホースの折れ、曲り、ねじれはないか。	
排水接続部	外れないように固定してあるか。ホースの折れ、曲り、ねじれ、水漏れはないか。	
フィルター	ゴミ詰まりはないか。ハンドルを時計回りに回してロックしたか。	
電源	200V 15/20A 専用回線か。アース線は接続したか。	
試運転	試運転は異常なく終了したか。庫内の水は排水されているか。	
試運転項目	1 電源を入れる → Start ランプが点滅 2 プログラムを設定する → Start ランプが点滅 (例：Quick wash 40 ボタンを選択) 3 Start ボタンを押す → Start ランプが点灯 ※SCViは扉を閉める 4 排水ポンプが回る → ポンプ音確認 5 給水される → 庫内に水が溜まる 6 洗浄ポンプが回る → シャワー噴射しながら スプレーノズルが回転	
試運転終了	1 電源ボタン(ON/OFF)を押して、プログラムをキャンセルする。 2 庫内の水を抜くため、再度プログラムをスタートさせ、排水ポンプを回す。 3 庫内の水を抜くため、電源ボタン(ON/OFF)を押して、再度プログラムをキャンセルする。	

※本機の通電、通水ができず試運転が行えない場合は、後に通電
通水が可能になった時に必ず試運転を行ってください。

確認者 _____